

学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成24年12月4日(火) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

発表事項

1. 平成25年度より地域リーダー育成のための実践教育プログラムがスタート
2. 「やまがた食育カレンダー 2013」を作成！！
3. 南東北3大学連携「災害復興学」市民講座の開催
4. 「第12回全国科学教育ボランティア研究大会 in 愛知」で学生が発表

お知らせ

1. 山形大学基盤教育シンポジウム「教養教育改革の成果と課題」を開催
2. 第2回やまがた教員養成シンポジウム「山形の教員養成の未来を考える」を開催
3. 山形大学「世界俯瞰の匠」育成プログラム成果発表会を開催

(参 考)

次回の学長定例記者会見(予定)

日 時：平成24年12月18日(火) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

平成24年12月4日
山形大学

平成25年度より地域リーダー育成のための実践教育プログラムがスタート

小白川キャンパスでは、平成25年度から3学部（人文学部・地域教育文化学部・理学部）共通の特別コースとして「実践教育プログラム」を実施します。

【プログラムの概要】

本プログラムは、グローバル化及び地域再生の諸課題に対応できる地域リーダーを育成するために、「実践教育プログラム推進センター」を設置し、人文学部・地域教育文化学部・理学部の専門教育の他に、3学部共通の特別教育コースとして「実践教育プログラム」を実施するものです。

「実践教育プログラム」では、下記のようにグローバル・スタディーズ、公共政策スタディーズ、企業活動スタディーズの3コースを設置し、海外留学や長期インターンシップ等により、様々な実践的能力を育成します。履修学生には、各コース指定の授業科目、留学先での修得単位、インターンシップ、課題研究等総計20単位の修得によって、修了認定証が交付されます。

【各コースの目的】

グローバル・スタディーズコース

世界のグローバル化は近年、急速に進展しており、国内外で、異言語を母語とし、異文化を背景に成長した人々と日常的に接触する機会が激増しつつあります。本コースは、そうした社会で生き生きと暮らし、活発に働く意欲と能力のある人材の育成を目的としています。そのために必要な基礎的な語学運用能力と、異なる文化や社会に関する知識と理解、それらに基づいた課題発見・解決能力を、海外留学とその前後の学習によって育成します。

公共政策スタディーズコース

本コースは、地域社会を自治体行政・NPO等の公共部門の側から支え、地域再生にリーダーシップを発揮できる人材の育成を目的としています。そのために必要な基礎的な学力と、自治体等での長期インターンシップおよび課題研究論文作成により実践的な課題発見・課題解決能力を備えた人材を育成します。

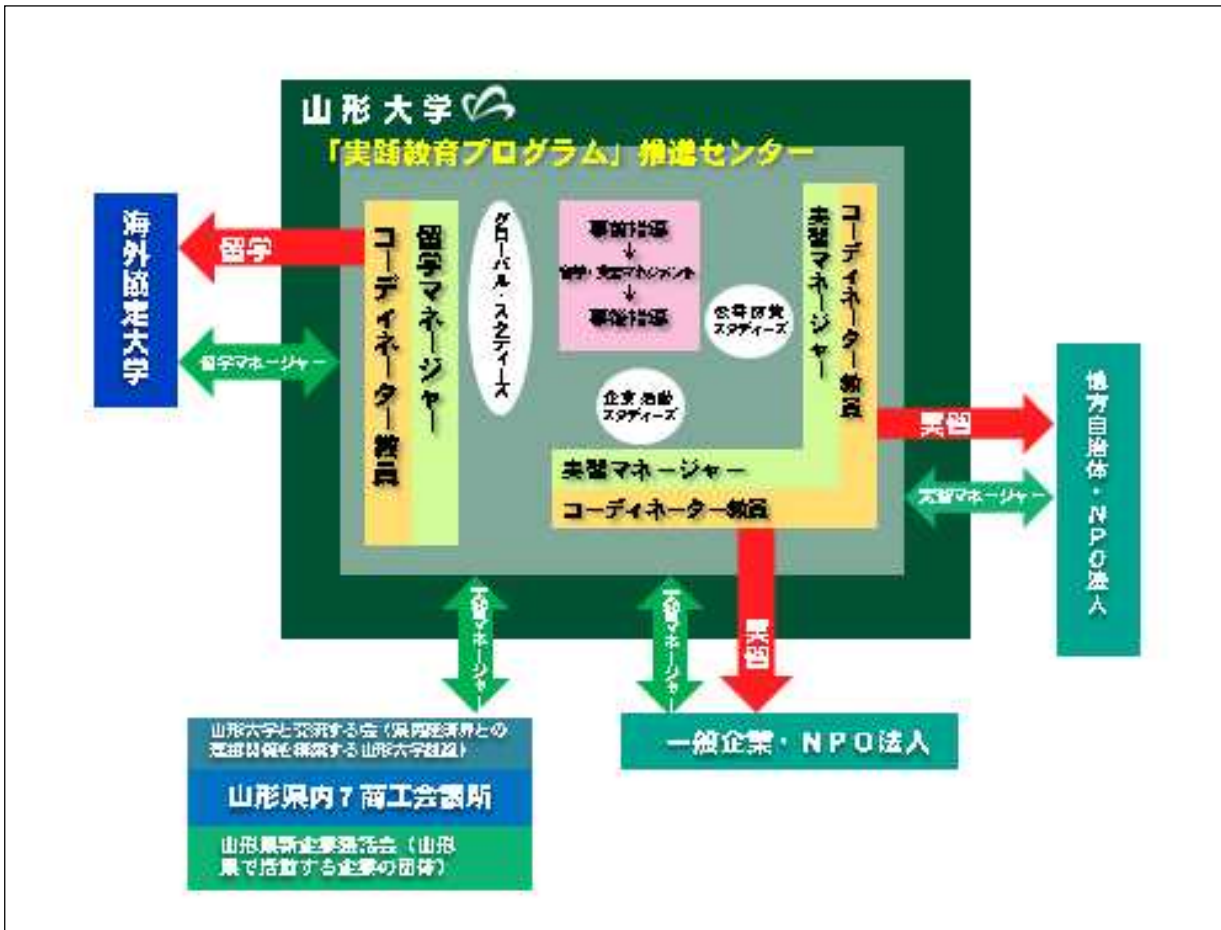
企業活動スタディーズコース

本コースは、企業マネジメント・組織マネジメントの基本的知識と運用力を備え、企業活動の諸領域においてイノベーションを生み出し、地域経済の活性化に貢献する意欲ある人材の育成を目的としています。そのために必要な基礎的な学力と、企業活動の現場での長期インターンシップおよび課題研究論文作成により実践的な課題発見・課題解決能力を備えた人材を育成します。

【実践教育プログラム推進センターの概要】

「実践教育プログラム推進センター」は、専任のコーディネーター教員3名と留学マネージャー教員・実習マネージャー教員各1名及び事務職員3名での構成を計画しています。

センターの運営については、3学部の教育担当副学部長からセンター長1名、副センター長2名を選任し運営する体制をとります。また、「実践教育プログラム」を推進するために、センター長・副センター長に加え、3学部各2名の教員からなる「実践教育プログラム実施委員会」を設置し、運営にあたります。



【お問合せ先】

小白川キャンパス事務部教務課・課長 齋藤秀昭

電話：023-628-4114

Mail：kyokacho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

平成24年12月4日
山形大学

「やまがた食育カレンダー 2013」を作成！！

地域教育文化学部生活総合学科食環境デザインコースの学生が中心となり、全頁カラーの「やまがた食育カレンダー2013」を今年も作成しました。このカレンダーは、「家庭や学校で子どもと食べ物について話したり、郷土料理を味わうきっかけになれば」との願いから、昨年初めて作成しました。栄養士や栄養教諭、家庭科教員を目指す学生が心を込めて作成したカレンダーは大好評であり、2013年版はさらにバージョンアップしました！見開き上部の料理は全てリニューアルし、山形市農政課のご協力を得て、山形の特産物をテーマに学生が考案した料理やスイーツをレシピと共に多数掲載しました。また、毎日の話題もできる限り新しい内容に改訂しました。さらに、家庭用のA4判サイズに加え、今回はよりビックなB4判サイズも用意しました。

1. 本カレンダーの特色

- (1) 見開き上部には、その月にちなんだ料理を実際に調理し、画像と共に作り方を紹介。
- (2) 見開き下部の各日の欄には、郷土の食材やスイーツ、食にちなんだ記念日など、毎日異なる話題を掲載。
- (3) 末尾には、記念日とその由来を掲載し、中味がぎっしり詰まったおいしいカレンダー。

2. 本カレンダーにより期待される効果

家庭や学校、保育園・幼稚園等における食育の教材として様々な活用ができます。

毎日の話題については、詳しい解説を巻末に添付しており、毎日の話題をきっかけに、子どもの興味に応じてさらに深い学習にもつなげることができます。

山形で味わえる毎月の旬の食材や郷土料理も紹介しており、子どもだけでなく、保護者、特に若い世代の保護者にも山形の郷土食に興味を持っていただき、地産地消にも貢献できるのではないかと考えています。

3. 発行に至るまでの経緯

栄養教育に必要な知識および方法を実践的に学ぶ授業「栄養教育実習」(食環境デザインコース3年生対象)において、大森桂准教授がカレンダーの製作を提案したところ、学生が快諾。学生自身が班ごとに担当する月を決め、毎日の食に関する話題として掲載する内容を調査、作成しました。毎月の料理の選定・調理も、学生が班ごとに担当。料理の撮影及びカレンダー全体の監修は大森准教授が担当しました。2013年版は、山形市農政課のご協力のもと、山形市の農産物に関する資料を多数提供していただきました。

4. 配布について

今回は600部の配布を予定しております。ご希望の方は、返信用封筒(A4判は角2, B4判は角1の大きさ)に送付先を記入し、送料として240円分の切手を同封の上、大森研究室宛にご郵送ください。入手方法は学部ホームページにも掲載いたします。

(お問合せ先)

地域教育文化学部食環境デザインコース
大森 桂 准教授 (電話 628-4353)

平成24年12月4日
山形大学

南東北3大学連携「災害復興学」市民講座(山形会場)

福島大学、宮城教育大学及び山形大学の南東北3大学が連携して、災害復興学という新しい分野の確立を目指した災害復興学推進事業を実施している。その一環として、災害復興学を広く市民に開講するために、南東北3大学連携市民講座(山形会場)を開講します。

日時 平成24年12月15日(土)

13:00~16:30 【受付開始 12:30~】

会場 ゆうキャンパス・ステーション (定員40名)

対象 一般市民(参加無料)

内容

「東日本大震災、人間復興を目指して」- 宮城、福島の復興を考える -

・ 「人間の復興 - 生存機会の復興をどのように成し遂げるか」

講師：山形大学人文学部 教授 下平 裕之 氏

・ 「被災地の教育復興に向けて ~ 教職員・保護者の心のケア、及び特別支援教育の視点から ~ 」

講師：宮城教育大学教育学部特別支援教育講座 教授 野口 和人 氏

・ 引き裂かれた福島--地域と住民の分断をこえて--

講師：福島大学人間発達文化学類 教授 牧田 実 氏

申込方法

電話またはE-mailの場合は、参加者の氏名、所属、連絡先(E-mail、電話番号)を、FAXの場合は裏面の申込書に記載いただき下記宛お申込みください。

申込締切

定員になり次第締め切らせていただきます。

お申込、お問合せ先

山形大学渉外課(大学コンソーシアムやまがた ゆうキャンパス・ステーション)

山形市香澄町1-3-15 山形むらさきビル1F

TEL 023-628-4842 FAX023-628-4820

E-mail dairen@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

【主催】山形大学 【共催】宮城教育大学、福島大学 【後援】大学コンソーシアムやまがた

宮城会場 平成24年12月13日(木) 18:00~20:00 仙台市情報・産業プラザ(AEL)6Fセミナールーム(2)B

福島会場 1月上旬開催予定

(お問い合わせ)

山形大学渉外部渉外課

(大学コンソーシアムやまがた)

TEL 023-628-4842

「震災復興学入門」

【開講学年】 1年～4年

【開講時期】 後期

【ねらい】

東日本大震災は大津波を引き起こし、未曾有の大災害をもたらした。さらには福島第1原子力発電所の重大事故が勃発し、東北地方は多重大災害に遭遇している。南東北3大学（福島大学、宮城教育大学、山形大学）は、今回の大災害からの復興に関わるプロセス、すなわち災害・被災情報、現地の課題とその解決、その後の新たな課題といったプロセスについて収集・分析、理論化を図り、これらを体系的に編成することにより、災害復興に関する学問領域である「災害復興学」の発展に貢献するよう取り組んでいる。本講義は、「災害からの復興」という我々が直面する課題に関し、共に学び考えていくための取組である。

【授業方法】

福島大学、宮城教育大学、山形大学の教員が、各教員の専門領域の観点から災害からの復興に関わる講義を行う。

【日 程】

回	月日	担当講師名	役職	所 属	
第1回	10月1日	下平 裕之	教授	山形大学	人文学部
第2回	10月22日	下平 裕之	教授	山形大学	人文学部
第3回	10月29日	下平 裕之	教授	山形大学	人文学部
第4回	11月5日	中村 洋介	特任准教授	福島大学	うつくしま未来支援センター
第5回	11月12日	佐藤 静	教授	宮城教育大学	教職大学院
第6回	11月19日	北川 忠明	教授	山形大学	人文学部
第7回	11月26日	横井 博	教授	山形大学	渉外部
第8回	12月3日	佐藤 慎也	教授	山形大学	地域教育文化学部
第9回	12月10日	清水 修二	教授	福島大学	経済経営学類
第10回	12月17日	西崎 伸子	准教授	福島大学	行政政策学類
第11回	1月21日	丹波 史紀	准教授	福島大学	行政政策学類
第12回	1月28日	田端 建人	准教授	宮城教育大学	学校教育講座
第13回	2月4日	松岡 尚敏	教授	宮城教育大学	社会科教育講座
第14回	2月12日	下平 裕之	教授	山形大学	人文学部

南東北3大学連携

参加
無料

「災害復興学」市民講座

(山形会場)

福島大学、宮城教育大学及び山形大学の南東北3大学が連携して、災害復興学という新しい分野の確立を目指した災害復興学推進事業を実施している。その一環として、災害復興学を広く市民に開講するために、南東北3大学連携市民講座（山形会場）を開講します。

◆日時 平成24年

12月15日(土)

13:30～16:00【受付開始 13:00～】

◆会場 ゆうキャンパス・ステーション（定員40名）

◆対象 一般市民



「東日本大震災、人間復興を目指して」－宮城、福島の復興を考える－

「人間の復興－生存機会の復興をどのように成し遂げるか」

講師：山形大学人文学部 教授 下平 裕之 氏

「被災地の教育復興に向けて～教職員・保護者の心のケア、及び特別支援教育の視点から～」

講師：宮城教育大学教育学部特別支援教育総合研究センター 教授 野口 和人 氏

「引き裂かれた福島 --地域と住民の分断をこえて--」

講師：福島大学人間発達文化学類 教授 牧田 実 氏

◆申込方法

電話またはE-mailの場合は、参加者の氏名、所属、連絡先(E-mail、電話番号)を、FAXの場合は裏面の申込書に記載いただき下記宛お申込みください。

◆申込締切

定員になり次第締め切らせていただきます。

◆お申込、お問合せ先

山形大学渉外課(大学コンソーシアムやまがた ゆうキャンパス・ステーション)
山形市香澄町1-3-15 山形むらさきビル1F
TEL 023-628-4842 FAX023-628-4820
E-mail dairen@jm.kj.yanmagata-u.ac.jp

会場マップ





FAX:023-628-4820 山形大学渉外課 行き

参加申込書

「災害復興学」市民講座に申込みます。

必要事項を明記の上、FAX・郵送またはE-mailにてお申込ください。

申込締切日:定員になり次第締め切らせていただきます。(定員40名)

所 属	
氏 名	
連 絡 先	電 話
	E-mail
所 属	
氏 名	
連 絡 先	電 話
	E-mail

受講申込者が多数の場合は、お手数ですが参加申込書をコピーしてご利用ください。

この申込書にご記入いただいた情報は、今回の講座を受講するために必要な事務連絡等に使用すると共に、参加者名簿の作成にのみ使用させていただきます。

【お申込・お問合せ先】

山形大学渉外課(大学コンソーシアムやまがた ゆうキャンパス・ステーション)

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらきさわビル1階

TEL:023-628-4842 FAX:023-628-4820 E-mail:unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

平成24年12月4日
山形大学

「第12回全国科学教育ボランティア研究大会in愛知」で学生が発表

山形大学SCITAセンターの学生スタッフが、第12回全国科学教育ボランティア研究大会に招待され、日頃の活動について発表し、また分科会「学生ボランティアは今」にパネリストとして参加し、全国の科学教育ボランティアに関わる学生と意見交換を行います。

第12回全国科学教育ボランティア研究大会in愛知

概要：全国科学教育ボランティア研究大会は、実験教室等の科学教育ボランティア活動について、その目的や方法、思いや期待、理想と現状、成功や失敗の経験などを話し合い、今後の発展につなげていくとともに参加者同士互いの親睦を深めようというもの。第1回大会以来、ボランティアによって企画運営され、毎年全国から百数十名という多数の方が参加し、大きな成果を上げており、今年は愛知で開催。

テーマ：「見つけよう 育てよう ボランティアの芽
～未来を担うボランティアを育てるには～」

主催：科学教育ボランティア研究大会実行委員会

日程：平成24年12月 8日(土)、9日(日)

場所：名古屋市 名城大学11号館(天白キャンパス)

参加者：理学部 3年 渋谷 諭(発表者)

〃 2年 今田 弘樹(発表者)

〃 2年 安田龍太郎(発表者)

他に6名の学生スタッフも参加します。

発表内容「SCITAセンター活動履歴」

(お問合せ先)
山形大学理学部
教授 栗山 恭直
電話023-628-4517

プレス通知資料（概要）

平成24年12月4日
山形大学

1. 山形大学基盤教育シンポジウム「教養教育改革の成果と課題」を開催

山形大学では、「基盤教育」という教育課程を編成してから3年を迎えたことを契機に、これまでの教養教育改革の成果と課題を振り返るシンポジウムを開催します。

シンポジウムは、小山 清人 教育・学生支援担当理事による基調講演と、基盤教育実施部の各部門長らによる話題提供、総括討議で構成され、以下の日程で行われます。

日 時 平成24年12月15日(土) 13:00～16:30

17:00～情報交換会

会 場 キャンパス・イノベーションセンター東京 1階 国際会議室

(東京都港区芝浦3-3-6 JR田町駅芝浦口からすぐ)

入場無料(情報交換会のみ 会費3,500円)

〔詳しくは、別添の資料をご覧ください〕

2. 第2回やまがた教員養成シンポジウム「山形の教員養成の未来を考える」を開催

山形大学大学院教育実践研究科（教職大学院）と公益財団法人やまがた教育振興財団が主催し、シンポジウム「山形の教員養成の未来を考える」を開催します。

このシンポジウムでは、学習院大学の佐藤学教授を講師としてお招きし、また、地域における現場の声を踏まえ、山形の教員養成の未来について考えていきます。

日 時 平成24年12月22日(土) 13:00～17:00

会 場 山形大学地域教育文化学部(山形市小白川町1-4-12)

入場無料

〔詳しくは、別添の資料をご覧ください〕

3. 山形大学「世界俯瞰の匠」育成プログラム成果発表会を開催

5年前にスタートした山形大学「世界俯瞰の匠」育成プログラムの研究成果を振り返り、成果発表会を開催し、目指すべき21世紀のグローバルを考えます。

成果発表会では、日本総合研究所調査部 ^{もたに こうすけ} 藻谷 浩介 主席研究員による基調講演、大学院理工学研究科 小野 浩幸 教授による事業説明、修了生・在校生による研究成果発表が行われます。

日 時 平成24年12月19日(水) 13:30～17:00(13:00から受付開始)

会 場 グランドホクヨウ(米沢市金池2-3-7)

入場無料(懇親会のみ 会費3,000円)

〔詳しくは、別添の資料をご覧ください〕

Educational Reform

山形大学基盤教育シンポジウム

教養教育改革の成果と課題

学士課程教育の構築を目指した教養教育改革
—学士課程を通じ、人間力を育成する「基盤教育の確立」—



日時 平成24年
12月15日(土) 13:00~

会場 **キャンパス・イノベーションセンター東京
1F 国際会議室 (東京都港区芝浦 3-3-6)**

■基調講演

教育・学生支援担当理事 小山 清人

■話題提供

山形大学基盤教育実施部導入科目部門長 立松 潔 教授

山形大学基盤教育実施部基幹科目部門ディレクター 齋藤 学 准教授

山形大学基盤教育実施部教養科目部門長 須賀 一好 教授

山形大学基盤教育実施部共通科目部門長 阿部 宏慈 教授

■総括討議

座長/基盤教育実施会議議長 須賀 一好 教授

パネリスト/教育・学生支援担当理事 小山 清人

山形大学基盤教育実施部導入科目部門長 立松 潔 教授

山形大学基盤教育実施部基幹科目部門ディレクター 齋藤 学 准教授

山形大学基盤教育実施部共通科目部門長 阿部 宏慈 教授

「教養教育改革の成果と課題」

学士課程教育の構築を目指した教養教育改革 ー学士課程を通じ、人間力を育成する「基盤教育の確立」ー

■ 日時:平成24年 **12月15日(土)** 13:00~16:30

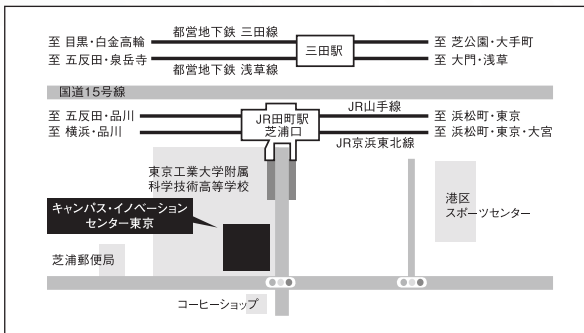
■ 会場:キャンパス・イノベーションセンター東京 1F 国際会議室(東京都港区芝浦3-3-6)

[趣 旨]

山形大学では、平成22年度から、「基盤教育」という新しい教育課程を編成しました。この基盤教育は、山形大学が重視する学士課程における人間力の育成を目指し、初年次導入科目「スタートアップセミナー」をはじめとした新たな授業科目を導入するとともに、学生が学ぶ目的を明確に認識しながら着実に学習成果をあげられるよう、各科目の目的や位置づけごとに、体系的な編成を行ってきました。

山形大学での一連の教育改革の目的と成果を、他大学における教育改革で活かしていただけるよう、「教養教育改革の成果と課題」を主テーマに本シンポジウムを開催いたします。多数のご参加をお待ちしております。

[ACCESS MAP]



[プログラム]

1. 基調講演

13:10~13:40

「山形大学における教育改革について」

教育・学生支援担当理事 小山 清人

2. 話題提供

13:50~15:10

「初年次導入教育のめざすもの」

山形大学基盤教育実施部導入科目部門長 立松 潔 教授

「“人間・共生”大学理念と共通感覚」

山形大学基盤教育実施部基幹科目部門ディレクター 齋藤 学 准教授

「教養科目の不易と流行」

山形大学基盤教育実施部教養科目部門長 須賀 一好 教授

「技能と教養の間で」

山形大学基盤教育実施部共通科目部門長 阿部 宏慈 教授

3. 総括討議

15:15~16:25

座長／基盤教育実施会議議長 須賀 一好 教授

パネリスト／教育・学生支援担当理事 小山 清人

山形大学基盤教育実施部導入科目部門長 立松 潔 教授

山形大学基盤教育実施部基幹科目部門ディレクター 齋藤 学 准教授

山形大学基盤教育実施部共通科目部門長 阿部 宏慈 教授

4. 情報交換会

17:00~19:00

<参加申込み方法>

申込み期限 / 12月5日(水)

氏名、所属機関(部局)、住所、電話番号、E-mailアドレス、情報交換会(会費3,500円)への参加の有無を明記し、下記のいずれかの方法でお申込み下さい。



023-628-4720



k3cen@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

主催 / 山形大学基盤教育院

お問い合わせ: 山形大学小白川キャンパス事務部教務課教育企画担当 〒990-8560 山形市小白川町 1-4-12

TEL/FAX: 023-628-4720 E-mail: k3cen@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

参加申込書	[氏 名]	[所属機関(部局)]
	[住 所] 〒	[電話番号]
	[E-mail]	
	[情報交換会の参加希望]	有(会費3,500円) ・ 無

第2回「やまがた教員養成シンポジウム」

山形の教員養成の未来を考える

日時

2012年12月22日(土)
13:00~17:00

場所

山形大学地域教育文化学部
山形市小白川町1-4-12

◇参加対象：どなたでも参加できます。 ◇入場無料

教育県山形には、優れた教員を養成するために「山形大学大学院教育実践研究科(教職大学院)」と、それを支援する「公益財団法人 やまがた教育振興財団」が設立されています。

このシンポジウムでは、学習院大学教授の佐藤学先生を講師としてお招きします。また、地域における現場の声を踏まえ、山形の教員養成の未来について考えます。

■第1部 (13:00~16:30) 教職大学院学生・教員等によるポスター発表

◇「小会議室」(1号館1階)にて、学修や研究の成果をポスターにして発表します。

■第2部 (13:20~17:00) シンポジウム 司会 出口 毅 (山形大学大学院教育実践研究科)

◇「大会議室」(1号館2階)にて、講演とパネルディスカッションを行います。

○基調講演 「世界と日本の教師教育の改革動向 —今、日本の教師教育の課題を考える—」

講師 佐藤 学 氏 (学習院大学文学部教授)

○パネルディスカッション 「教育現場が求める教師とは —修士レベル化への対応を考える—」

パネリスト 田中 隆史 氏 (山形市立第一中学校長)
中井 義時 氏 (山形県教育庁教職員室長)
江間 史明 (山形大学大学院教育実践研究科教授)
コーディネーター 伊藤 清郎 (山形大学大学地域教育文化学部副学部長)

■情報交換会 (17:30~19:30) 山形大学厚生会館

◇会費3,500円 ※参加ご希望の方は事前にお申し込みください。

□主催 山形大学大学院教育実践研究科・公益財団法人やまがた教育振興財団

□共催 山形大学地域教育文化学部

お申込・問合せ先：山形大学小白川キャンパス事務部地域教育文化学部事務室(総務担当)
電話：023-628-4304 FAX：023-628-4313
E-mail:kyosoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

第2回「やまがた教員養成シンポジウム」

山形の教員養成の未来を考える

日 時 2012（平成24）年12月22日（土） 13：00～17：00

場 所 山形大学地域教育文化学部（山形市小白川町1-4-12）

主 催 山形大学大学院教育実践研究科・公益財団法人やまがた教育振興財団

共 催 山形大学地域教育文化学部

プログラム

午後	ポスター発表	13：00～16：30	小会議室（1F）
	山形大学大学院教育実践研究科（教職大学院）の学生と教員が、日頃の学修や研究の成果についてポスター掲示を行います。また、その内容の発表及び質疑応答を行います。		
	シンポジウム	13：20～17：00	大会議室（2F）
	① 開 会 13:20～ 財団理事長挨拶，研究科長挨拶など ② 基調講演 13:30～15:00 佐藤 学 氏 「世界と日本の教師教育の改革動向 －今、日本の教師教育の課題を考える－」 ③ パネルディスカッション 15:10～17:00「教育現場が求める教師とは －修士レベル化への対応を考える－」 ○パネリスト 田中 隆史氏（学校の現場から） 中井 義時氏（教育行政の現場から） 江間 史明（教員養成の現場から） ○コーディネーター 伊藤 清郎 ○司会進行 出口 毅		

◇情報交換会を開催します。 17:30～19:30 山形大学厚生会館
 ※会費 3,500円は当日受付で申し受けます。

第2回 やまがた教員養成シンポジウム 参加申込書（12/10締切）

FAX：023-628-4313 E-mail：kyosoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

お 名 前	ご 所 属	連絡 TEL	情報交換会
			参 加・不参加
			参 加・不参加
			参 加・不参加
			参 加・不参加
			参 加・不参加

山形大学

「世界俯瞰の匠」

育成プログラム成果発表会

日本のものづくりは本当に競争力を失ったのでしょうか？

悲観論と楽観論が交錯する今こそ冷静に世界を俯瞰する必要があります。
5年前にスタートした山形大学「世界俯瞰の匠」育成プログラムの研究成果
を振り返り、目指すべき21世紀のグローバルを考えます。

プログラム

● **開 会** 13:30～（受付/13:00～）

● **基調講演**

21世紀の“グローバルものづくり”の構築 ～生産性信仰を超えて～

講師 日本総合研究所調査部主席研究員 藻谷 浩介氏

● **事業説明**

『世界俯瞰の匠』

育成プログラムの5年間を振り返って

山形大学大学院理工学研究科教授 小野 浩幸

● **修了生・在校生研究成果発表**

17:00～終了

● **懇親会** 17:00～18:00

2012
12/19 水

時間

受付/13:00～

開会/13:30～

会場

グランドホクヨウ

米沢市金池2-3-7

TEL 0238-22-1238



お願い

講演会当日は会場となる3階を
全面禁煙といたします。

お問い合わせ

山形大学大学院
理工学研究科
MOT事務局

〒992-0039

米沢市門東町3-1-47

TEL:(0238)

40-0761

FAX:(0238)

40-0765

E-mail:
kiku@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

〈お申し込み方法〉

裏面下記「参加申し込み書」に御記入
のうえ、切り取らずにそのままFAX
して下さい。

〈お申し込み締切〉12月7日(金)

主催／山形大学大学院理工学研究科ものづくり技術経営学専攻

共催／山形県置賜総合支庁 後援／米沢市

山形大学『世界俯瞰の匠』育成プログラムの歩み

平成19年3月	地域高密度実装技術戦略研究会報告で地域全体での競争力強化を提案	平成21年4月	博士前期課程として「世界俯瞰の匠」育成プログラムスタート
平成20年3月	世界俯瞰の匠育成プログラム構想を地域再生人材創出拠点形成事業に申請	平成21年7月	米沢市にて国際商取引学会共催による国際シンポジウム開催
平成20年6月	科学技術振興調整費プロジェクトとして採択（全国247申請中62課題）	平成23年2月	科学技術会議による中間評価において最高のS評価
平成20年7月	山形県・山形大学による「地域再生計画」の策定・認定	平成23年3月	第1期生（4月入学）修了
平成20年7月～9月	プレ講座として『地域再生システム論』開講	平成23年9月	第1期生（10月入学）修了
平成21年4月	大学院理工学研究科ものづくり技術経営学専攻にグローバル戦略コース開設	平成24年3月	第2期生（4月入学）修了
		平成24年9月	第2期生（10月入学）修了



日本総合研究所調査部主席研究員

もたに こうすけ
藻谷 浩介氏

山口県生まれの48歳。平成合併前3,200市町村の99.9%、海外59ヶ国をほぼ私費で訪問し、地域特性を多面的に把握。東大法学部卒業、日本開発銀行入行、米国コロンビア大学ビジネススクール留学、日本経済研究所出向などを経ながら、2000年頃より地域振興の各分野で精力的に研究・著作・講演を行う。2012年より現職。公職やテレビ出演多数。近著「デフレの正体」（角川Oneテーマ21）はベストセラーとなった。



山形大学大学院理工学研究科教授

おの ひろゆき
小野 浩幸

1961年生まれ。理工学研究科ものづくり技術経営学専攻グローバル戦略コース長。北海道大学法学部卒業。昭和60年山形県庁入庁。平成11年山形大学工学部助手。平成13年山形大学地域共同研究センター助教授。平成15年山形大学大学院理工学研究科博士後期課程修了。平成17年7月より現職。地域企業との産学連携や研究会活動のなかで「世界俯瞰の匠」育成プログラムを構想。内閣府との共同で地域再生システム論を開講し、文部科学省科学技術戦略推進費採択後は同プログラムを主宰してきた。

参加申し込み書（このままFAXして下さい）

山形大学大学院MOT事務局行き **FAX:0238-40-0765**

（街中サテライトFAX番号）

会社名・団体名			
ご住所			
連絡先電話番号・E-mail			
参加者名	職名	成果報告会参加	懇親会参加 (会費3,000円)